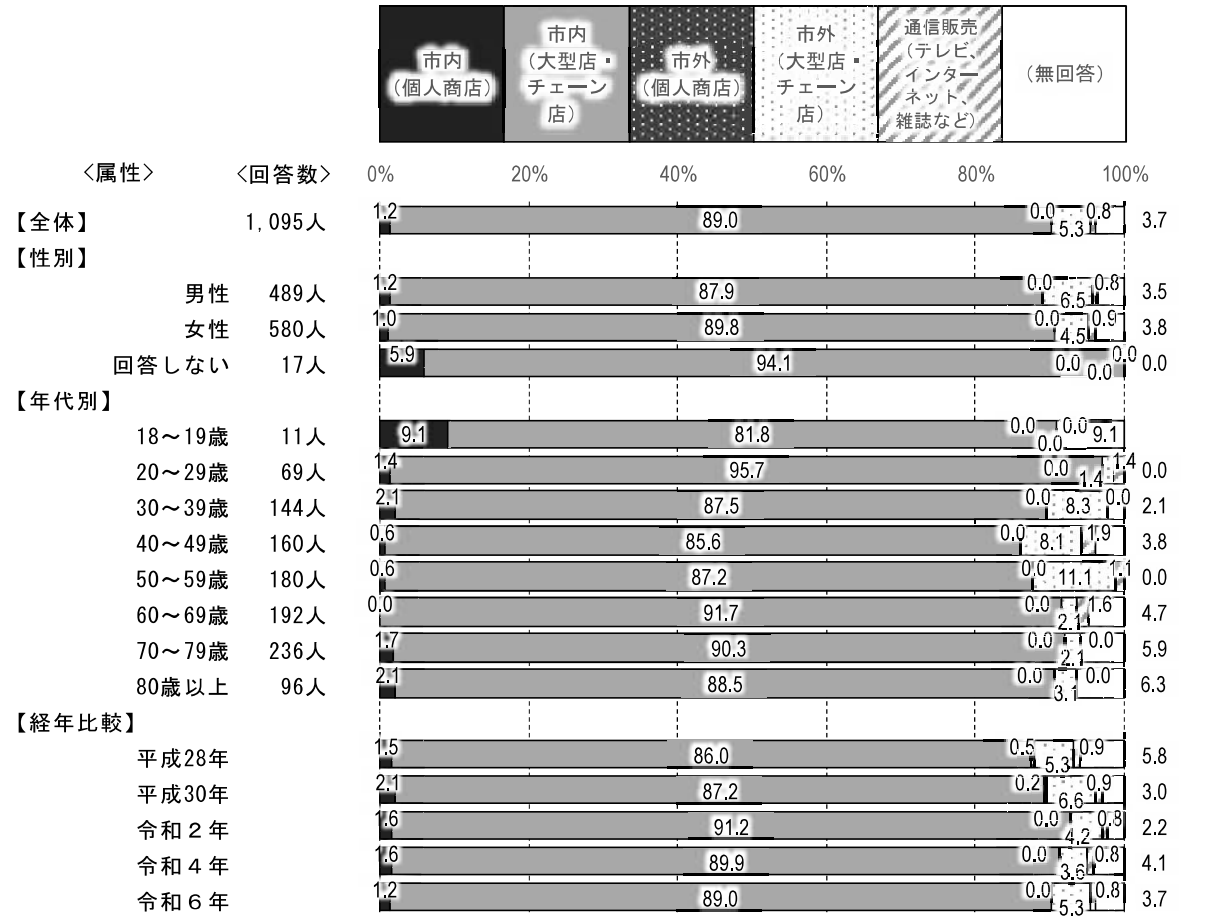
7　商業の活性化について

7－1　商品の購入状況

問16. あなたは、次の商品を主にどの商店で購入していますか。【○はそれぞれに1つ】

「市内の大型店・チェーン店」で購入される機会が多い。
「食料品」89.0%、「衣服・服飾品」61.2%、「家具・家電」67.4%

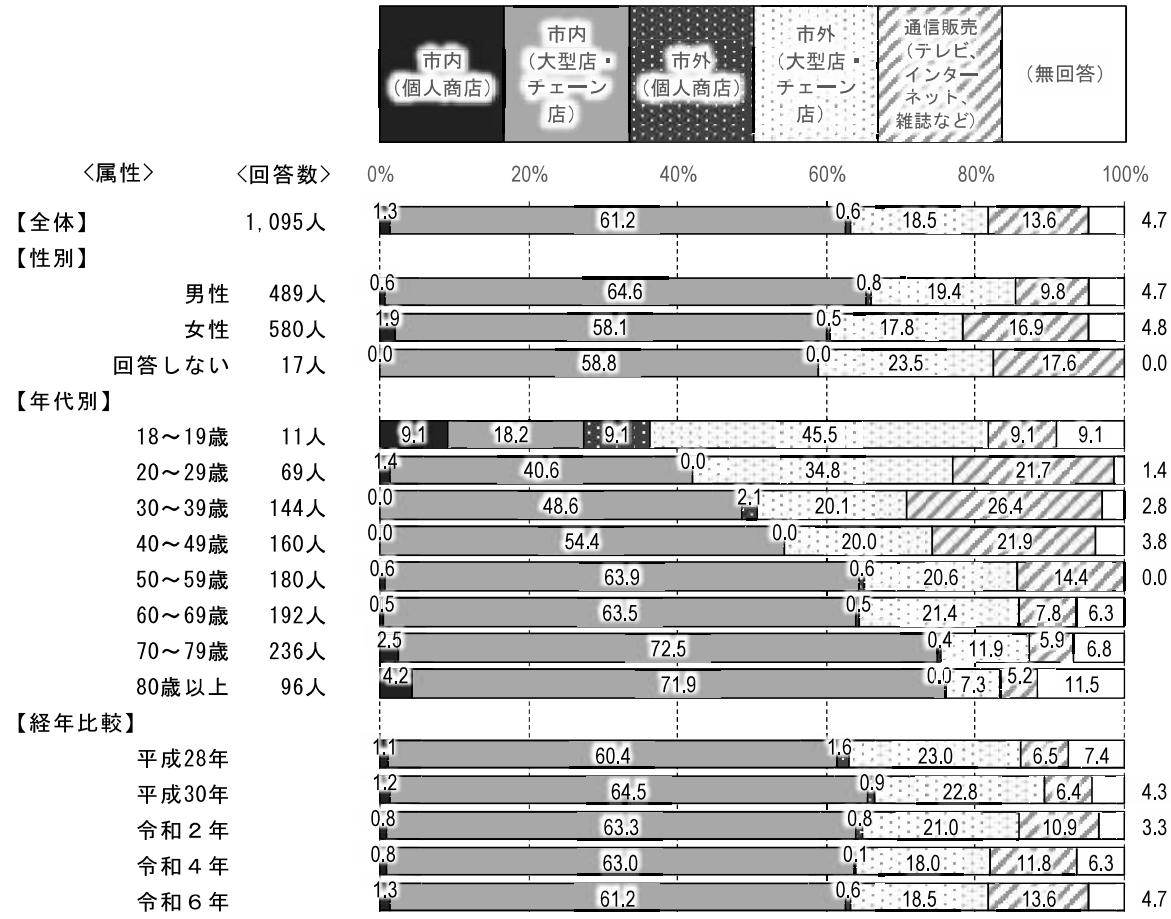
商品の購入先（ア）食料品



【全体】では、「市内（大型店・チェーン店）（89.0%）」が８割台で最も高く、属性別でも全て８割を超えています。

属性別で【全体】より目立って差のみられるものは、「市内（個人商店）」の【年代別】18～19歳（9.1%）が7.9ポイント、「市内（大型店・チェーン店）」の【年代別】20～29歳（95.7%）が6.7ポイント、【性別】回答しない（94.1%）が5.1ポイント、「市外（大型店・チェーン店）」の【年代別】50～59歳（11.1%）が5.8ポイント高い一方、「市内（大型店・チェーン店）」の【年代別】18～19歳（81.8%）が7.2ポイント低くなっています。

商品の購入先（イ）衣服・服飾品



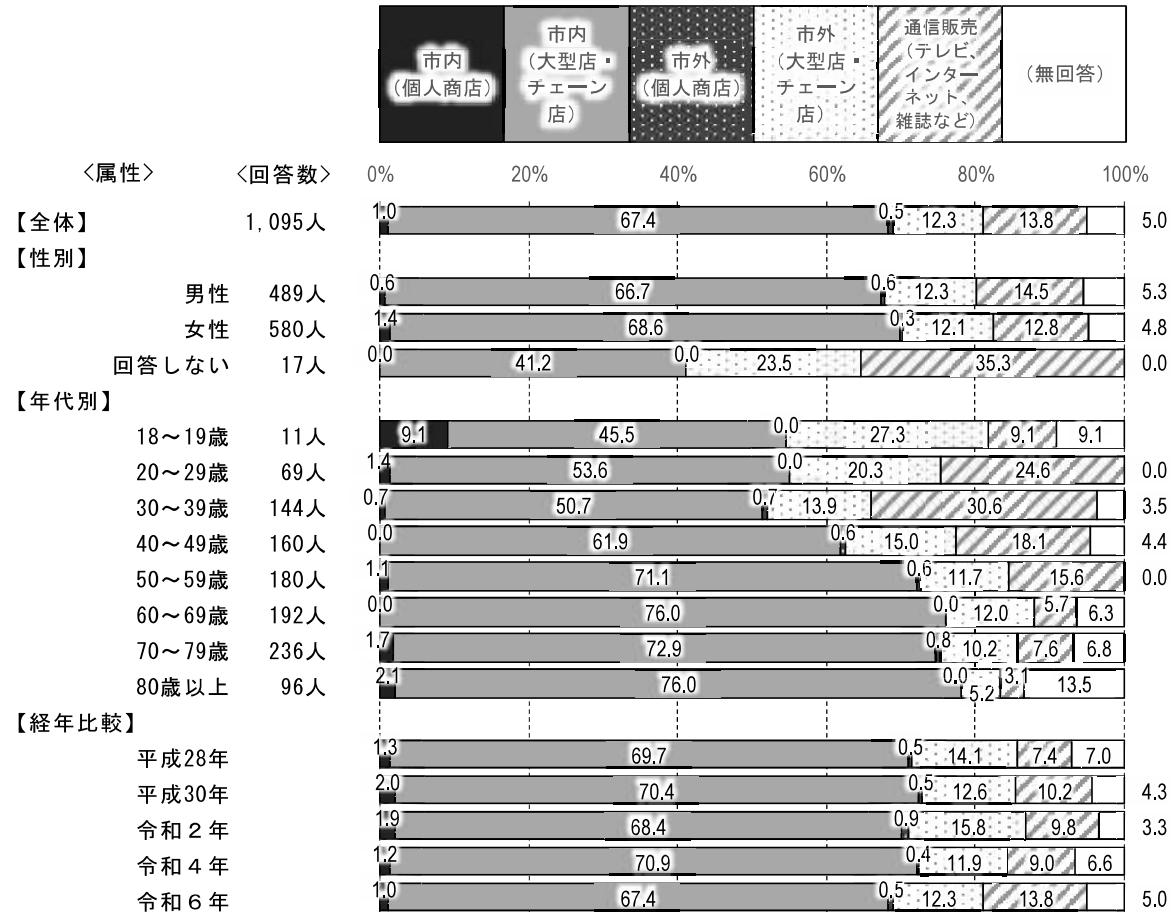
【全体】では、「市内（大型店・チェーン店）（61.2%）」が６割台、「市外（大型店・チェーン店）（18.5%）、通信販売（テレビ、インターネット、雑誌など）（13.6%）」が１割台となっています。

属性別で【全体】より目立って差のみられるものは、「市外（大型店・チェーン店）」の【年代別】18～19歳（45.5%）が27.0ポイント高い一方、「市内（大型店・チェーン店）」の【年代別】18～19歳（18.2%）が43.0ポイント、【年代別】20～29歳（40.6%）が20.6ポイント低くなっています。

【年代別】では、年代が上がるごとに「市内（大型店・チェーン店）」の割合が上昇、「市外（大型店・チェーン店）」は低下する傾向がみられます。また、「通信販売（テレビ、インターネット、雑誌など）」は20～49歳で２割台と他の年代より高くなっています。

【経年比較】では、年を追うごとに「通信販売（テレビ、インターネット、雑誌など）」の割合が上昇する傾向がみられます。

商品の購入先（ウ）家具・家電



【全体】では、「市内（大型店・チェーン店）（67.4%）」が６割台、「通信販売（テレビ、インターネット、雑誌など）（13.8%）、市外（大型店・チェーン店）（12.3%）」が１割台となっています。

属性別で【全体】より目立って差のみられるものは、「通信販売（テレビ、インターネット、雑誌など）」の【性別】回答しない（35.3%）が21.5ポイント高い一方、「市内（大型店・チェーン店）」の【性別】回答しない（41.2%）が26.2ポイント、【年代別】18～19歳（45.5%）が21.9ポイント低くなっています。

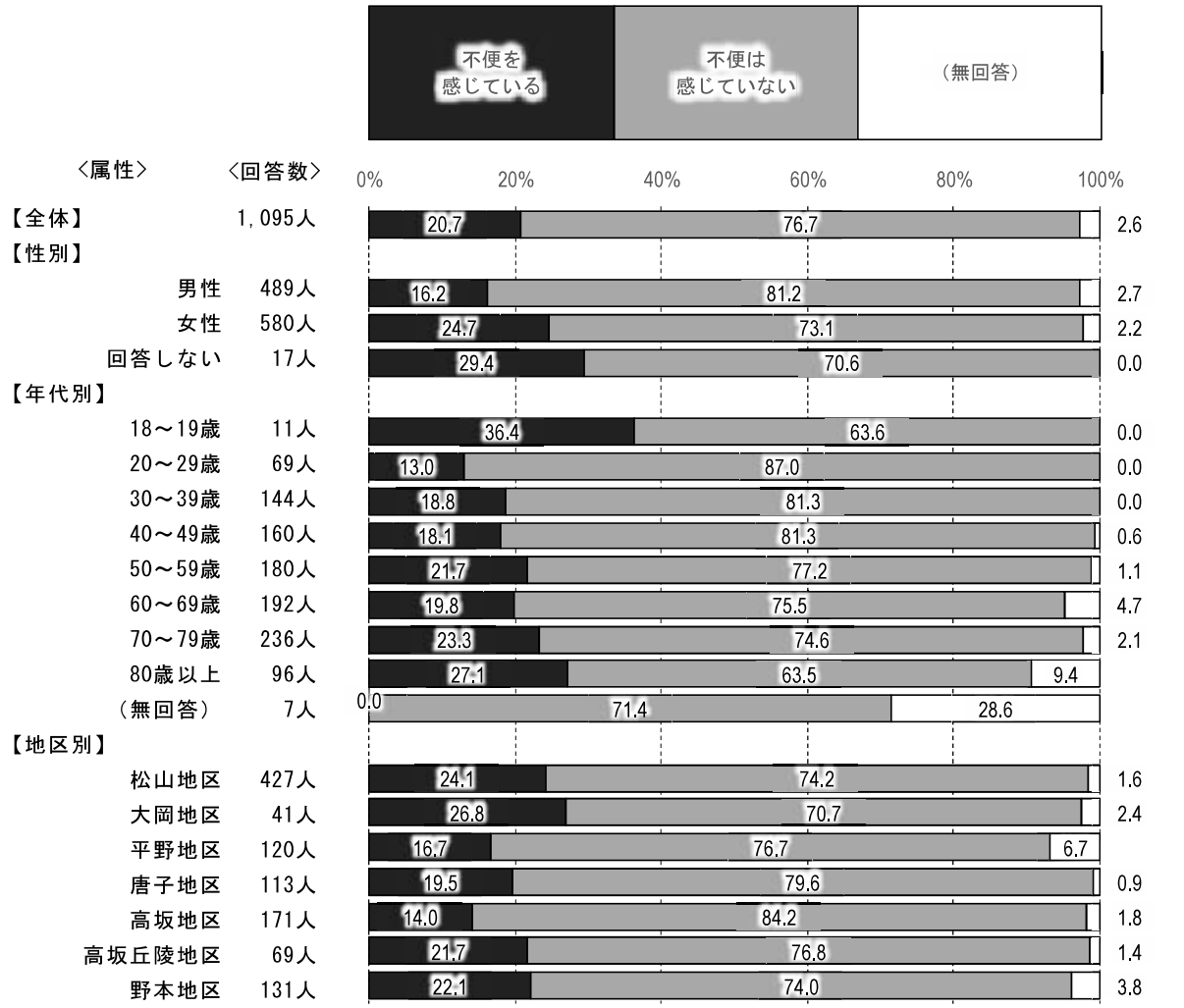
【年代別】では、年代が上がるごとに「市内（大型店・チェーン店）」の割合が上昇、「市外（大型店・チェーン店）」は低下する傾向がみられます。また、「通信販売（テレビ、インターネット、雑誌など）」は20～39歳で２割を超え他の年代より高くなっています。

７－２　日用品の買物での利便性

問17. あなたは、食料品などの日用品の買い物で不便を感じていますか。【○は1つ】

「不便を感じている」20.7%、「不便は感じていない」76.7%

日用品の買物での利便性



【全体】では、「不便を感じている（20.7%）」が２割強、「不便は感じていない（76.7%）」は７割台となっています。

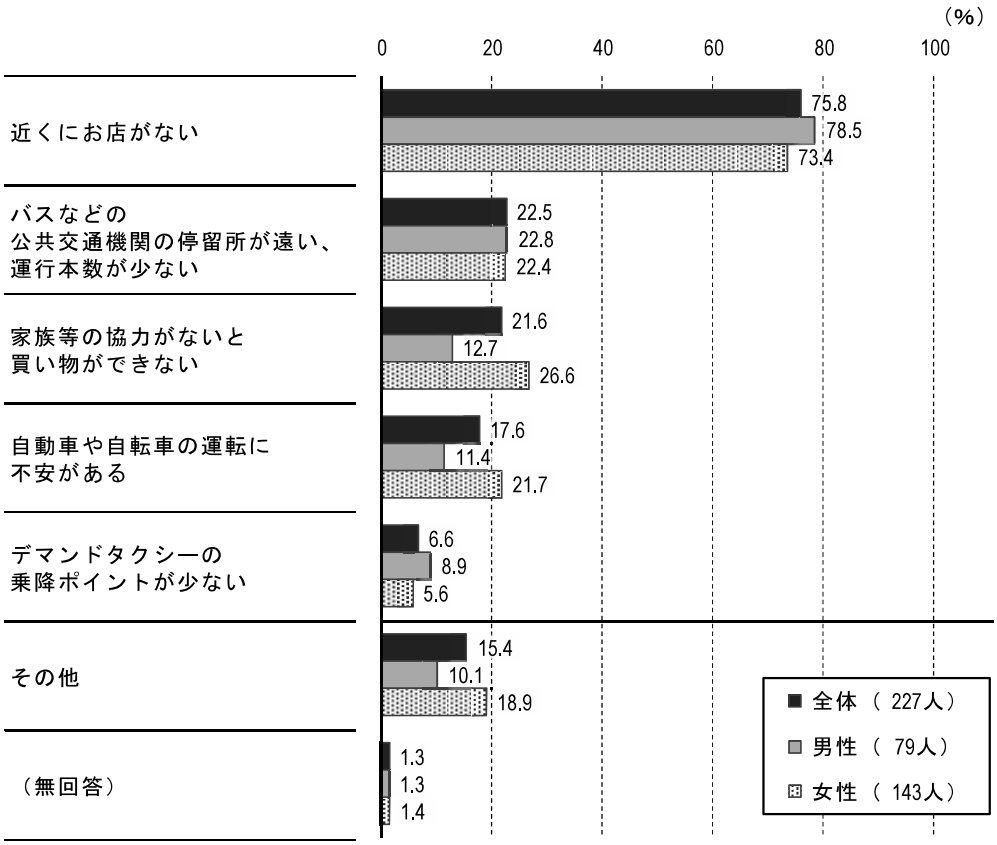
「不便を感じている」をみると、【性別】では、女性（24.7%）が男性（16.2%）より8.5ポイント高くなっています。【年代別】では、回答数が少ない「18～19歳（36.4%）」を除き、年代が上がるごとに割合が上昇する傾向がみられますが、最も高い「80歳以上（27.1%）」でも２割台に留まります。【地区別】では、「大岡地区（26.8%）、松山地区（24.1%）、野本地区（22.1%）、高坂丘陵地区（21.7%）」が２割台で【全体】を超えています。

７－３　買物で不便を感じる理由

（問17で「不便を感じている」とお答えの方におたずねします。）
問17-1. どのようなことで不便を感じていますか。【○はいくつでも】

「近くにお店がない」75.8%

買物で不便を感じる理由（全体・性別）

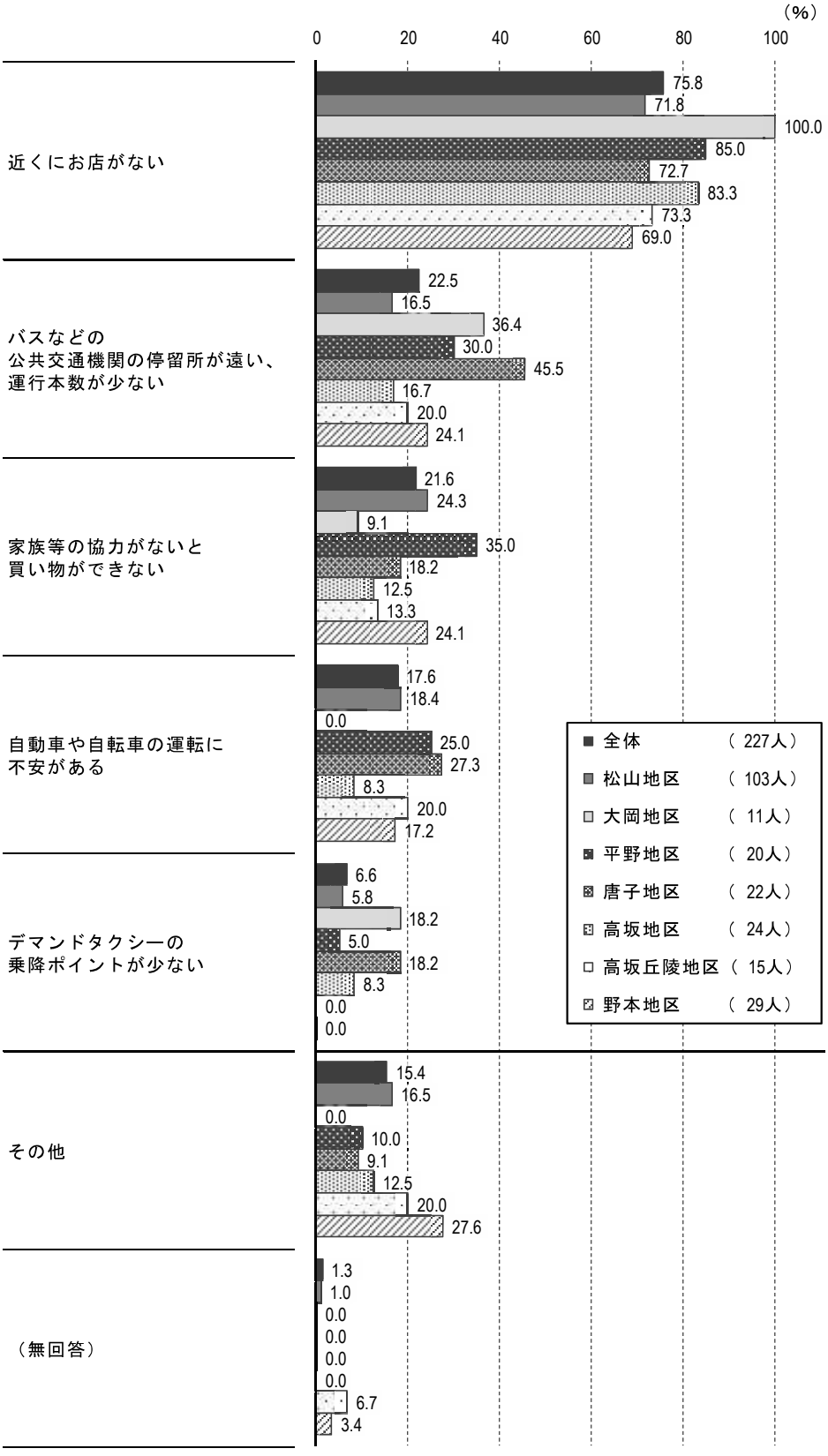


【全体】では、「近くにお店がない（75.8%）」の割合が７割台で最も高く、次いで「バスなどの公共交通機関の停留所が遠い、運行本数が少ない（22.5%）、家族等の協力がないと買い物ができない（21.6%）」が２割台で続いています。

【性別】では、女性は「近くにお店がない（73.4%）、家族等の協力がないと買い物ができない（26.6%）、バスなどの公共交通機関の停留所が遠い、運行本数が少ない（22.4%）」の順に高く、男性の上位３項目は【全体】と変わらず、割合は78.5%、22.8%、12.7%となっています。

また、「家族等の協力がないと買い物ができない」は女性（26.6%）が男性（12.7%）より13.9ポイント、「自動車や自転車の運転に不安がある」は女性（21.7%）が男性（11.4%）より10.3ポイント高く差がみられます。

買物で不便を感じる理由（地区別）



【地区別】では、「近くにお店がない」の「大岡地区（100.0%）」、「バスなどの公共交通機関の停留所が遠い、運行本数が少ない」の「唐子地区（45.5%）」、「家族等の協力がないと買い物ができない」の「平野地区（35.0%）」などが他の地区に比べ割合が高くなっています。